

## 第26期第15回常任理事会議事録

日 時：4月21日 13時30分～18時15分

場 所：気象庁 気象学会事務局

出席者：浅井，竹内，小倉，木田，藤谷，村上，安富，  
安成，中村，佐藤

### 議 事

#### A. 報告事項

##### 1. 各委員会報告

###### 「庶務」

- ・後援名義使用の依頼が2件あった。
- ・受託業務「TRMM データの気象分野への利用に関する調査検討」は計画とおり，3月19日に終了した。
- ・「学術用語集（気象学編）」の出版権の更新が行われた（1995年6月まで）。
- ・学会事務局を3名常勤体制とする。

###### 「会計」

- ・1991年度の決算の説明。

###### 「天気」

- ・4月号と5月号の内容及び6月号の予定。
- ・1991年度の編集費の決算。

###### 「気象集誌」

- ・70巻3号の内容。
- ・1991年度の編集費の決算。

###### 「気象研究ノート」

- ・1992年度の出版計画。

###### 「講演企画」

- ・春季大会のトピックのテーマは「ピナトゥポの噴煙」で第2日目の午後に行う。また，大会に合わせて開催される研究会は5件である。
- ・秋孝大会（札幌）の案内を「天気」4月号に掲載する。シンポジウムのテーマは「都市豪雪」の予定。

###### 「教育と普及」

- ・第26回夏季大学計画（8月3日～5日の3日間で講義数は8）。
- ・1991年度委員会活動費の決算。

###### 「国際学术交流」

- ・1992年度前期国際研究集会補助金受領者候補の選考結果と学会共催研究集会への参加の取扱に関する基本方針への問題提起。（審議事項へ付

託）

###### 「IAMAP」

- ・国内での IAMAP 参加の登録を春季大会会場でも実施予定。
- ・実行委員会において募金委員会の組織作りの具体化に入った。
- ・展示会の中で市民フォーラムを企画（自治体・一般企業への参加募集）。

###### 「通信メディア」

- ・2，3月の着信件数（435件）と概要。

###### 「各賞」

- ・「学会賞・藤原賞」の理事投票結果。  
1992年度学会賞余田成男氏，藤原賞松野太郎氏
- ・「堀内基金奨励賞」の募集広告の件。  
他学会誌やパソコン通信への掲載も検討する。

##### 2. 監査実施報告

- ・4月16日，事務局において1991年度監査が実施された。結果は総会において報告される。

#### B. 審議事項

1. 第14回常任理事会の議事録は一部修正の上承認された。
2. 「総合計画」担当理事から次の問題提起があり，今後検討を続けることとなった。
  - ・「研究連絡会」の専任担当理事を設定する。主な仕事は会場場所の調整と，補助金交付。
  - ・関連学会の活動における接点での気象学会の意志表示の手段・方法等に関する問題。
  - ・財務委員会設置の提案。
3. 「国際学术交流」担当理事からの提案を検討。国際研究集会補助選考の基本方針について。「機会均等」，「旅費援助機会の大小（年齢や機関）」を考慮する。学会共催の研究集会への補助は別枠を考慮する。
4. 会員の新規加入について
  - ・個人28名，団体1が承認された。
  - また，退会について個人10名，団体2の報告があった。
5. 「奨励金受領候補者推薦委員会」委員について
  - ・永田雅氏（気象研究所）の新任の承認。
6. 総会提出議題について

- ・会費の値上げ提案……全理事の意見を確認し、追加資料を検討した。
- ・1991年度事業報告案・決算報告案、1992年度事業計画案・予算案についての総会提出資料内容を検討した。

7. 第5回理事会の議題について(5月26日開催予定)

- ・第18回気象審議会の答申に関連した学会での対処方針を検討する作業委員会の設置と検討方針。

編集後記：この号が皆様のお手元に届くころには西日本の梅雨明けも間近、東日本はあと少しというところでしょうか。1年後の1993年7月には横浜において IAMAP '93 が開かれます。会議の準備は多くの方々のご努力により順調に進んでおり、海外からの反応もそれなりに返ってきているのですが、国内からの Mailing Registration が多くありません。7月の下旬といえは関東地方の梅雨明けの頃、蒸し暑い戸外を避け、涼しい会議場で気象三昧の2週間。アジアで初めて開かれる IAMAP 会議です。14日間全部は無理としても、会員の皆様には1日でも参加してアジアをはじめ世界の気象関係者の顔や声、姿形を知り、討論もしていただければ、と思います。本人を知っていると解説や論文で出てくる名前に血が通うというものです。

さて昨年9月の編集後記で触れられていますように、

編集委員会では1982年から10年間の「天気」の索引を作る作業を行っています。私は昨年4月に編集委員となり、この索引作成を担当しています。前回の索引作成では28年間の索引ということもあり人海戦術も用いたと聞いていますが、今回は最近の技術の進歩や個人的趣味を反映し、パソコンに全面的に依存した小人数による索引作成作業となりました。つまり、全記事の表題や著者などの情報をパソコン上のデータベースにし、分類番号やキーワードを付与したうえ、適当な順序と書式で出力・印刷することになりました。現在、予定していた1991年12月号までの情報の打ち込みが終了し、来年度の印刷に向けて内容の検査を行っています。またパソコン上のデータベースという特性を生かすため、磁気媒体での公開も検討しています。御意見をお寄せください。

(里村雄彦)